

けんこう静岡

第147号

令和3年
(2021年)
10月1日(金)

季刊 1部50円 年200円
(送料税込)

発行所
公益財団法人 静岡県予防医学協会

http://www.shsa.net/

静岡事務所	〒421-1292	静岡市葵区建徳1-3-43	(054)278-7716
藤枝健診センター	〒426-0053	藤枝市善左衛門2-11-5	(054)636-6461
総合健診センター	〒426-8638	藤枝市善左衛門2-19-8	(054)636-6460
沼津事務所	〒410-0011	沼津市岡宮1210-1	(055)921-1934
浜松健診センター	〒435-0006	浜松市東区下石田町951	(053)422-7800

発行責任者 石黒 満 印刷 松本印刷株式会社

個別最適化された支援の実現に向けて

「気になる子どもへの理解を深める」



常葉大学保育学部講師 赤塚 めぐみ

1. Aさんの声

支援を要する子どもへの対応について考えるとき、私はいつも、Aさんのことを思い出しします。もう10年以上前のことですが、当時Aさんは小学5年生でした。自閉スペクトラム症(ASD)とADHDがあり、学習にもつまづきが見られました。毎日、自信を失うことの連続で、保護者は学校の先生に「とにかく良いところを見つけて、褒めて欲しい」とお願いをしていました。

2. Aさんを理解するには

Aさんには、ASDとADHDがありました。その特徴には、社会的コミュニケーションにおけるつまづきや想像力の欠如、不注意、多動・衝動性があります。担任の先生は、これを承知しており、日常的にこまめな注意喚起や肯定的支援を行っていました。適切な対応です。

3. 気になる子どもの支援とは

特別支援教育が進むにつれて、学校現場では発達障害に関する情報が広く知られるようになってきました。しかしながら、それは発達障害の中核的症狀に関する情報がほとんどで、その子なりのつまづきの表れ方や支援法などについては、まだまだ知られていないことが多いのです。また、まだ知られていないことが多いのも現状です。そのため、合理的配慮の提供においても、何をどの程度支援したらよいのか分からず、悩みながら支援されている先生も多いのではないのでしょうか。

4. ねらい

支援を要する子どもに適切に働きかけることは、その子どもの生活を豊かにすることにつながります。ひとりひとりの子どもの状態像を的確に把握し、個別最適化された支援の提供がこれからの時代にはますます求められます。そのため、支援者として子どもの意見を丁寧に聞き取る必要があります。それと同時に、子ども自身が自己理解を深め、自分の状態を語るための言語力を備えていくことも大切です。これは、子どもだけの努力でも、支援者だけの努力でも実現が難しく、互いのコミュニケーションによって実現されるものと考えます。

れにも関わらず、Aさんの表情は冴えず、むしろ、ますます塞ぎ込むような様子が見られました。チャイムが鳴り、休み時間になると、Aさんは私のそばまでやってきました。「今の見ただろ？」とAさんが言うので、私は「見てたよ」と答えました。続けてAさんは、「いつもああやって、俺のことだけガミガミガミガミ怒るんだ。しかも、1日に何度も。」と訴えました。これが、Aさんの学校に行きたくない理由でした。

大きな声の先生でした。もしかすると、大きな声で褒めた方が伝わりやすいと考えて、そのようにされていたのかもしれませんが、いざれにしても、Aさんは、その声色と音量に圧倒され、先生が語り掛ける内容を正確に聞き取ることができなかつたと思われれます。失敗経験の多いAさんからすれば、「先生が自分の近くに来て、個別に大きな声で何かをしゃべっているときは叱られているとき」という思い込みもあつたのでしょう。支援のカギは、ここにありました。

そこで、私は担任の先生にこのことをお伝えし、落ち着いた声で、静かに語りかけていただくようお願いしました。それから2週間後のAさんとの面談日。彼は、「なんか不思議なんだけど、あの日から急に、先生が俺のことをやたら褒めるようになったんだよね。」と私に報告しました。「良かったね。この調子で、毎日学校に行けそう？」と尋ねると、「うん」とAさんは答えました。

Aさんの得意な理科の授業でした。でも、Aさんには元気がありませんでした。担任の先生は、子ども達の机を回り、どの子どもにも褒めたり、励ますなど、きめ細やかな指導をされていました。先生は、Aさんの机の隣で立ち止まり、Aさんのノートをのぞき込みながら、張りのある元気な声で褒め言葉を掛けました。そ

一方、発達障害には、それ自身が疾患の中核的症狀ではないけれども、しばしば見られる特性がいくつかあります。Aさんには、聴覚過敏がありました。特定の音質や大きな音などに対して強い不快感を示したり、ときには聴覚的な情報が適切に処理できなくなるものです。私たちは普段、リビングのテレビがついていても、同じ部屋で過ごす家族と会話をすることに、それほど不自由はありません。ところが、聴覚情報処理がうまくいかない事例では、テレビの音と家族の会話の識別が難しく、会話の内容をうまく聞き取れないことがあります。

Aさんの担任の先生は、少し甲高い声色が特徴で、元気はつらつと張りのある(いわゆる大

合理的配慮の提供は、しばしば眼鏡の使用で例えられることがあります。眼鏡を使う場合、

年一回は健康チェックを!

健康はあなたの財産です
すこやかな明日のために

人間ドック
脳ドック ものわすれドック

総合健診センター ヘルスポート
〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8
TEL 054-636-6460
FAX 054-636-6465
☎ 0120-39-6460